

2013-2014 年  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
外国人研究員（客員研究員）の公募について

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所では、「アジア・アフリカの言語文化に関する国際的研究拠点」の活動の一環として、2013年から2014年の間、アジア・アフリカ言語文化研究所に滞在し、共同利用・共同研究課題に参画して中核的役割を担う外国人研究員を客員研究員（客員教授又は客員准教授）として公募いたします。

1. 外国人研究員の要件

外国人研究員は、以下のすべての要件を満たすこととします。

- 1) 2013年から2014年の間、アジア・アフリカ言語文化研究所に滞在し、共同利用・共同研究課題（2013年から2014年に実施する課題は、下記一覧のとおり）に参画して中核的役割を担うことが期待されます。
- 2) 当該課題の終了時には、論文を執筆するなどの形で共同研究の成果公開に寄与しなくてはなりません。
- 3) 原則として日本国外の学術研究機関に在職する常勤研究者とします。但し、日本国籍の方でも、日本国外の学術研究機関において概ね10年以上にわたり、原則として常勤研究者として活動している方は応募可能です。
- 4) 客員教授又は客員准教授としての研究上の能力を有する研究者とします。

2. 募集人数

3名程度

3. 滞在期間

滞在期間は、4か月以上とします。また、滞在期間は、2013年9月から2014年3月までの7か月間を第一タームとし、2014年4月から7月までの4か月間を第二タームとします。応募に際しては、①第一タームのみ、②第二タームのみ、③第一ターム及び第二ターム連続の別により申請してください。なお、①及び③の場合にあっては、研究に必要な4か月以上の期間を明記してください。

4. 雇用要件及び待遇

- 1) 東京外国語大学の規定に基づき、給与を支給します。
- 2) 研究費を支給するとともに、研究室等、本研究所の施設・設備を利用することができます。宿舎については、本学の国際交流会館を貸与します。
- 3) 雇用期間中は、社会保険制度が適用されます。
- 4) 規定に基づき、赴任及び帰国旅費を支給いたします。なお、家族を同伴される場合、家族にかかる旅費は支給されません。
- 5) 滞在期間中に、当該共同利用・共同研究課題の研究会における口頭発表及び研究成果報告書の提出が求められます。
- 6) 滞在期間中は、アジア・アフリカ言語文化研究所を拠点として研究を行うこととしま

す。

- 7) 滞在期間中は、海外渡航が可能ですが、規程により、年次休暇の範囲内で行うものとします。

## 5. 申請方法

### 1) 事前協議

応募にあたっては、ご自身が参画を希望する共同利用・共同研究課題の研究代表者（コーディネータ）、又は共同利用・共同研究課題の研究代表者が他機関に所属の研究者である場合は、同課題に参画するアジア・アフリカ言語文化研究所の所員（サブ・コーディネータ）に事前に連絡のうえ、研究計画について十分な協議を行ったうえで、協議を行った所員（受入担当者）を明記して応募書類を提出してください。

### 2) 応募書類

以下の書類を揃え、2013年4月19日（消印有効）までに、アジア・アフリカ言語文化研究所長に提出してください。応募書類は、英語ないし日本語で記載してください。また、応募書類は返却いたしません。

- ① 申請書、履歴書及び職歴書（所定の様式）
- ② 研究業績リスト（様式自由）及び主要業績3点（論文の写しでも可）
- ③ 共同利用・共同研究課題と申請者の研究上の関連性及び滞在期間中に申請者が当該課題において果たす役割と共同研究終了後の成果発表予定（A4判1枚以上）
- ④ 所属機関長又は所属機関の部局長からの応募に関する同意書（所属機関のレターヘッド用紙により作成してください。）

## 6. 選考結果の通知

2013年5月下旬までに、申請者に通知いたします。

## 7. 問い合わせ先

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・研究協力課

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

e-mail: [ofias-office@tufs.ac.jp](mailto:ofias-office@tufs.ac.jp)

Tel. +81-42-330-5594 Fax. +81-42-330-5599

## 2013-2014年 外国人研究員公募課題一覧

### 《言語系》

- アフリカ諸語の情報構造と言語形式の類型論的研究
- アフリカ諸語のイベントの統合のパターンに関する研究 ※
- 日本語のノダに類する文末談話標識の通言語的研究：「思考プロセス」の観点からのアプローチ ※
- 準動詞に関する通言語学的研究 ※
- ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容 ※
- 通言語的視点から見たオーストロネシア諸語の情報構造 ※
- 複雑系としての言語：運用に基づく文法理論の可能性

### 《人類学系》

- 多元的想像・動態的現実としての「華人」をめぐる研究 ※
- 思考様式および実践としての現代科学とローカルな諸社会との節合の在り方 ※
- 地域民族誌の方法論と人類学的空間構想力の可能性の探求 ※
- 人類社会の進化史的基盤研究（3）

### 《歴史学・地域研究系》

- 中国古代簡牘の横断領域的研究
- 東アジア・東南アジア大陸における文化圏の形成と他文化圏との接触—タイ文化圏を中心として—
- 移民／難民のシティズンシップ—国家からの包摂と排除をめぐる制度と実践—
- アフリカ史叙述の方法に関する研究 ※
- 近世イスラーム国家と多元的社会
- 東南アジアのイスラームと文化多様性に関する学際的研究
- 現代アフリカにおける〈国家的なもの〉に関する研究：ニューメディア・グローバリゼーション・民主主義 ※
- 前近代南アジアにおける中間的諸集団の再検討
- 歴史的観点から見たサハラ以南アフリカの農業と文化（2）
- イスラームに基づく経済活動・行為
- 中東都市社会における人間移動と多民族・多宗派の共存（第2期）

\* 課題名をクリックすると、各課題の概要をご覧になれます。

\* 「※」のついた課題は、研究代表者（コーディネータ）が本研究所の所員ではありません。応募の際はご注意ください。